

.....

うきたむ考古通信


.....

2015年10月号

■発行者	うきたむ考古の会
事務局	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 内
	〒992-0302 山形県東置賜郡高島町安久津2117
	電話0238-52-2585 Fax 0238-52-4665

考古資料館主催事業報告

♥秋の遺跡めぐり山形方面・10月4日

 10月4日(日)に会員13名と会員以外の7名、職員2名で山形市と山辺町の遺跡と展示施設をめぐりました。

今年も山形まるごとマラソンと日程が重なりましたが、交通規制のない時間帯をくぐり抜け、渋滞に巻き込まれることなく、好天にも恵まれて無事終了しました。

考古資料館、山形駅を經由し山形県庁前で全員が合流し、まずは、成沢城跡へと向かいました。山形市の公園緑地課で整備・運営している公園となっており、登り口には駐車場やトイレ、案内の看板やパンフレットも備えられていました。バスを降りてからはなだらかな広い道を上って主郭跡へと向かいました。途中で山を切って堀切がつけられたことを示す案内標識や各曲輪への道案内の標識も完備されていました。主郭からは南、そして、長谷堂城のある西側、山形城のある北側も見渡すことができ、すばらしい眺望の開けるところにつくられた山城であることを実感できました。主郭から副郭へと向かい、副郭からの山形盆地の眺めを堪能して山を下りました。

成沢城を後にし、二位田の明円寺尚古館へと向かいました。昔は、なかなか見せてもらえなかったことを思い出しながら、私自身もおよそ20年ぶりの見学となりました。

このみどころは、なんとといっても、縄文時代中期前葉の百々山遺跡から出土した土器群の素晴らしさです。正式な発掘調査を経ていないとはいえ、復元された土器の多さ、中期特有のボリューム感は見学者を圧倒させてくれます。おりしも、現在当館で開催中の「重要文化財水木田遺跡展」とほぼ同じ時期の出土品で、米沢市の台ノ上遺跡、最上町の水木田遺跡、山形市の百々山遺跡の土器群は、県内の縄文中期土器群の三本柱ともいえるものと思います。ほかにも中期中葉の谷地前遺跡の土器や、弥生前期の筏山遺跡の土器、弥生中期の南川原遺跡の合わせ口甕棺など学史上有名な土器や、菅沢古墳の調査のきっかけとなった埴輪、それに、民俗資料もみることができました。法事もあった中、快く見学をお許し頂いた本沢住職に感謝しつつ、長谷堂城跡に向かいました。

東の関ヶ原と呼ばれる長谷堂合戦で名高い長谷堂城跡もきれいに整備された城跡となっていました。大河ドラマ天地人の舞台ともなった地域で、直江山城守も落とせなかつ

た難攻不落の城ということで、整備された道がありながら主郭（山頂広場）までの道のりは大変で、杖代わりのストックを片手に登りましたが、途中リタイヤされた方もありました。主郭からの眺望は見事でした。主郭まで登った方の記念撮影を行い、笑う膝に苦労しながら下山しました。

長谷堂城の後は、直江の率いる上杉軍が布陣したという菅沢山の一角にある、県指定史跡「菅沢古墳二号墳」を見学しました。直径 50m の 2 段築成の円墳で円筒埴輪、朝顔形埴輪のほか、家形、短甲形などの形象埴輪をもつ古墳です。現在は蕨が繁茂していますが、2 段築成の状況もよく観察できました。

つぎは、大ノ越古墳です。川崎名誉館長が山形県教育庁文化課に在職中に調査された、環頭太刀などが出土した古墳で山形市の指定史跡となっています。また、その出土品「大之越古墳出土品」は県指定有形文化財となっています。川崎名誉館長の説明を受け、全員で記念撮影を行いました。

進行が早かったので、昼食前に山辺町の大塚天神古墳を見学しました。以前から古墳ではないかといわれてきましたが、農村公園の建設計画に先立って平成 8 年に試掘調査を行った際、埴輪片が出土して古墳と確認されました。その後、平成 14 年まで 4 次にわたる発掘調査が行われています。調査によって直径 51m のマウンドに幅 16m の周溝をもつ、径 83m の円墳であり、黒斑のある円筒埴輪の出土により 4 世紀後半の古墳であることが明らかとなっています。天満神社社殿の下に眠っている被葬者に思いをはせながら、昼食会場へと向かいました。

山形盆地を見下ろせる場所にある「紅ほたる」では、眺望を楽しみながらおいしいランチを頂きました。

昼食後は山辺町ふるさと資料館へ。紅花や青苧などの商業活動で栄えた、佐藤清五郎家の敷地にある土蔵を活用した展示室です。ここでは、町内から出土した考古資料が展示されている北蔵を中心に見学しました。大塚天神古墳の黒斑のある円筒埴輪も見学できました。

当初計画ではふるさと資料館の後は県立博物館となっていたのですが、時間の進行が早かったので山形市のまなび館を急遽追加しました。この一室には考古資料の展示室があり、県指定の菅沢 2 号墳出土埴輪や山形西高敷地内遺跡出土の縄文土器、川原田遺跡出土の弥生土器、山形城跡三の丸から出土した織部の茶碗などの優品が展示されていました。古墳と埴輪の双方をみることができ、喜んでいただけたものと思います。

県立博物館では館内を案内していただくとともに、常設展の考古資料を中心に自由に見学しました。考古資料では現地を見学した大之越古墳群出土品を中心に見学しましたが、日向洞穴となっているのは、指定前からの展示のままであるためということや、縄文の女神 1 体の他、付けたりで多数の残欠も国宝となっていることなど、新たに知ったことも多かったようです。

最後に、県立博物館のある山形城跡を見学しました。近年復元された本丸の高麗門、柵形土塀を經由して本丸跡へ。ここは、32 連隊の時と思われる削平で本丸御殿の遺構を確認することが難しいこと、手がかりは深く掘られた井戸の位置から絵図との照合が可能かどうか今後の復元整備のポイントであることを学びました。続いて本丸と二ノ丸の西辺掘りの整備現場で改めてその壮大さを確認し、二ノ丸南辺へ向かいました。二ノ丸の土塁上を散策し土塀の礎石列や南西隅や南東隅の櫓跡の復元された石垣を見学し、遺跡めぐりの全行程を終了しました。

展覧会の結果と案内

👁️ 高島町町制施行 120 周年、町村合併 60 周年記念事業「たかはた美術館」展が 9 月 20 日で終了しました。本館では初めての考古資料以外の展覧会でしたが、後半に来館者が多くなりました。今後もこのような企画があれば、積極的に対応していきたいと思っています。

👁️ 平成 27 年度企画展 **重要文化財水木田遺跡展** が 11 月 29 日までの予定で開催中です。9 月 24・25 日に展示作業を行い、9 月 26 日にプレオープンし、10 月 1 日に正式オープンとなりました。今回の企画展では縄文土器 47 点、土偶残欠 24 点、土製品 11 点、石器 73 点、石製品 6 点合計 162 点を展示しています。縄文土器の優品と生活用具の素晴らしさを楽しんでいただきたいと思います。11 月 3 日 13 時 30 分から館長によるギャラリートークがあります。

また、オールカラーの展示図録（全 72 頁、指定品全点の画像データの入った DVD 付）も 2,000 円で好評頒布中です。是非お求めくださるようご案内いたします。

館主催事業報告と案内

👁️ 考古学セミナー

第 17 期考古学セミナーが始まりました。全体テーマは『縄文時代中期前葉から中葉の遺跡と遺物』です。第 1 回目は多くの会員の皆様の参加もあり、「山形県の縄文時代中期前葉から中葉の遺跡の概要」渋谷孝雄(当館館長)、「置賜地域の縄文時代中期前葉から中葉の遺跡-台ノ上遺跡-」菊地政信氏(日本考古学協会員)の講座が終了しました。

引き続き

2 回目——10 月 25 日(日)

「村山地域の縄文時代中期前葉から中葉の遺跡-西海淵遺跡-」

菅原哲文氏((公財)山形県埋蔵文化財センター)

「最上地域の縄文時代中期前葉から中葉の遺跡-西ノ前遺跡-」

黒坂雅人氏((公財)山形県埋蔵文化財センター)

3 回目——11 月 8 日(日)

「庄内地方の縄文時代中期前葉から中葉の遺跡-西向遺跡-」

須賀井新人氏((公財)山形県埋蔵文化財センター)

「山形県内の縄文時代中期前葉から中葉の石器」

秦 昭繁氏(考古学研究者)

受講料は各日とも 600 円で 3 回受講の方は 1,500 円となります。

👁️ 企画展記念講演会

11 月 15 日(日)に開催します。

講師 阿部 明彦 氏 ((公財)山形県埋蔵文化財センター)

演題 『水木田遺跡にみる縄文時代中期前半の世界』

阿部明彦先生は縄文時代から古代までいろんな時代の調査研究で有名な先生ですが、もともとは縄文時代中期の専門家として著名で昭和 53 年の水木田遺跡発掘調査の担当者として報告書をまとめられました。受講料は 500 円となります。

♥勾玉・弓矢・石器をつくろう

5月30日、8月8日(土)に続き、今年度最後となる上記体験学習が文化の日の11月3日に開催されます。多くの参加者をお待ちしています。

参加費はそれぞれが200円です。9時から15時まで(昼食休憩12時から13時)。所要時間は勾玉や石器が1時間、弓矢が30分程度です。

館主催事業予告

♥「ガラス玉をつくろう」

12月12日(土)に午前5組、午後5組を限った体験学習です。毎回、リピーターが多いのが特徴となっています。人気のある企画ですので早めにお申し込みください。

参加費は1組1,200円です。午前の部は9時から11時まで。午後の部は13時から15時となっています。

♥「古代風ブレスレットをつくろう！」

12月19日(土)に2回目の「古代風ブレスレットをつくろう」の体験学習が行われます。古代から人々の生活で使われてきた「麻」の紐を編んで自分だけのオリジナルブレスレットを作ります。前の週の事業で作ったガラス玉も組み込めます。

参加費は1つ200円です。午前の部は9時30分から11時30分まで。午後の部は13時から15時までとなっています。

うきたむ学講座事業結果

♥「うきたむ学講座」特別講座

10月10日(土)午後1時30分～4時30分に長井市西根地区公民館において『ここまでわかった縄文時代』と題する「うきたむ学特別講座」が長井の心を育む事業として開催されました。長井市教育委員会の海藤元氏の「縄文時代の衣食住」、岩崎義信氏の「縄文土器を科学する」の二つの講話に続き、元文化庁主任調査官の岡村道雄氏による「縄文人の葬送と物送りー階層社会とシャーマンー」と題する特別講演が行われました。地元や県内外から30名の参加者がありました。講演終了後は古代の丘資料館で開催されている企画展「縄文土器を科学する」を岩崎氏の案内で見学しました。

うきたむ学講座事業予告

♥「うきたむ学講座」

今年度も生涯学習文化財団の補助を受けることができ、前回案内のとおり開催することとなりました。「大谷地とその周辺の自然と歴史を考える」というテーマで3回の講座となりますが、特に、第1回講座は「縄文時代前期遺跡の集落構造と生業・交流」として11月28(土)・29(日)の二日間にわたっての押出遺跡の調査成果をめぐるシンポジウムとなります。ただいま申し込みを受け付けていますので、まだ申し込みをされていない方は、早めにお申し込みください。

東北情報館



特別展 『米沢藩 医家の系譜—堀内家文書を中心に—』

入館料 一般／620円 高大学生／400円 小中学生／250円

前期 9月19日～10月18日

後期 10月24日～11月23日 米沢市上杉博物館 TEL: 0238-26-8001



企画展 『鳥海山—歴史と災害—』

入館料 一般／100円 小中高大生／50円

9月18日～11月23日 酒田市立資料館 TEL: 0234-24-6544



企画展 『修験の山・羽黒山 知られざる信仰の証展』

入館料 大人／400円 高・大生／300円 小・中学生／200円

6月24日～11月23日 いでは文化記念館 TEL: 0235-62-4727



文化財レスキューパネル展

『ふるさとの宝、いのちの証を未来へつなぐために』

—山形における東日本大震災被災文化財救済活動の記録—

入館料 一般／600円 高大学生／500円 小学生／300円

10月13日～11月30日 広重美術館 TEL: 023-654-6555



企画展 『環状列石と周堤墓』

入館料 一般／310円 高大学生／150円

10月21日～12月7日 青森県立郷土館 TEL: 017-777-1585



旬の常設展 『片倉家特集—景綱没後400年—』

入館料 一般・大学／400円 高校生／200円 小・中学生／100円

9月15日～12月13日 仙台市博物館 TEL: 022-225-3074



特別展 『宇和島伊達家の名宝』

入館料 一般／1100円 高校・大学生／600円 小・中学生／300円
10月9日～11月23日 仙台市博物館 TEL: 022-225-3074



テーマ展示 『東北の古文書—金山関係資料—』

入館料 一般／400円 小・中・高生／無料
9月15日～11月8日 東北歴史博物館 TEL: 022-368-0106



テーマ展示 『東北の古文書—伊達騒動—』

入館料 一般／400円 小・中・高生／無料
11月10日～12月20日 東北歴史博物館 TEL: 022-368-0106



ふくしま復興展Ⅱ 『よみがえる文化財

—震災からの救出活動と再生への取り組み—』

入館料 一般／620円 高大学生／400円 小中学生／250円
10月17日～12月6日
福島県文化財センター白河館 まほろん TEL: 0248-21-070



企画展示 『北海道遺跡百選 8

—北海道埋蔵文化財センターの調査から—』

入館料 無料
10月31日～2月28日 北海道立埋蔵文化財センター TEL: 011-386-3231